

# ～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
掲示許可:茅野市 生活環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 生活環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

## オオムラサキ (島田克)

オオムラサキの幼虫の発見は大変な喜びでした。来年の7月がたのしみです。この時期の山は、木の形、山の形が良くわかり、違った目で山歩きを楽しめました。



## 色 色々 (吉)

今日は天気も悪く紅葉もダメかと思いきや、今日も紅葉がきれい。空の薄墨色に緑、黄緑、黄、クリーム色、オレンジ色、茶色、灰色の葉っぱの色。それに白や、こげ茶の樹木の色。自然の色はすごい！市民の森(吉田山)はすばらしい。来年もよろしく。

## 紅葉が鮮やか (su)

今年はいつもよりも紅葉が鮮やかです。これまで、茶色の葉ばかり見てきたコナラやガマズミの葉も美しく紅葉するのを初めて見て感激。



リンドウがまだ咲いていました。西洋ウツボグサが もう？まだ？咲いていました。暖かい日が続いたから、春と間違えたのか？

## アマゴ(?) (A.N)

アマゴ(?)の姿を拝見しました。冬はどうするのか。気になりますが、春に会うことができればと思います。エゾエノキの樹下でオオムラサキの幼虫のお会いして、来年に又会うことができることを祈っております。

## ㊦さんの観察日記

- 秋深まり、今年は紅葉、黄葉が素晴しく、どこをドライブしてもうっとりする程。秋とは、こんなに美しい季節かと再確認。
- ミドリヒメザゼンソウの実、新しい芽、そのせいたいの不思議を感じる。
- エゾエノキの葉の枯れ様、きたない、とってはかわいそうか。
- ヤマガシユの黒い実を食べてみた。中の種はあざやかな赤。しかも、固くて、かめない。ナイフで切ったら種そのもの。栄養満点の充実ぶり。



- キハダの黒い実。苦味が強い。まるで漢方薬の味そのもの。この頃、胃の調子が悪いので、これで少し回復するかしら？。
- アマゴ発見。こんなに大きい魚がこの吉田山のせせらぎの中にとは驚き！
- ホオの葉とトチの葉の比較。トチの葉がこんなにやわらかいのを初めて知る。

## 秋を満喫 (敏)

地面は落ち葉のジュータン。



下草が枯れて木々の姿・枝ぶりがみごとに  
見えて紅葉も美しい11月の森でした。  
早春～晩秋にかけ植物、生きものの生命の  
営みを見せてもらい、市民の森に感謝です。

## 出会った昆虫 (馬)

オオムラサキ幼虫 落葉ウラにて越冬準備。



## 出会った魚

アマゴ(雑種?)水車小屋の下の沢にて。



## アマゴが遡上 (山)

吉田山までアマゴが遡上していたのには驚きました。水が多かったときに頑張ったのだろうということでしたが、そんなときには水流も激しかったろうに、自然の中の生き物のチカラに脱帽です。

拾ってきたキハダの実は独特の匂いがしていかにも漢方薬の雰囲気。プランターに播いてみます。

## 沢沿いの小径 (悦) 写真も



この沢を登ったということですよ。

**市民の森の大木探し (悦)**

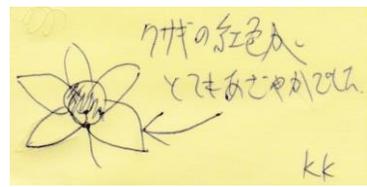
一周コース上の樹種毎の大木を捜し、胸高直径(地表から1.3mの所の直径)を測りました。メジャーは巻き付けて測れば直径が分かります。

- カラマツ 69.0cm(沢沿いの小径)
- コブシ 41.4cm
- クリ 79.3cm(南コース分岐)



- イタヤカエデ 45.5cm
- コナラ 60.6cm
- ホオノキ 70.08cm
- ハルニレ 40.2cm
- キハダ 49.9cm
- ケヤキ 59.8cm
- ウダイカンバ 78.3cm(頂上)
- コシアブラ 35.0cm
- ハリギリ 33.1cm

**クサギ →ガイドブック p100**



**★ 今日のなんでかな〜? (矢)写真も**



**冬芽の防寒対策 1 (悦)**



トチノキ ねばねばの粘液

**冬芽の防寒対策 2 (悦)**



コブシ 毛で覆う

**ソゴゴの実**



**Mittyさんの観察日記**

今年のコナラは例年の黄色の濃淡だけでなく、緑、緑と赤の染め分け、赤の濃淡と素晴らしい色どり。  
他の木々の紅葉も例年より赤みが入り、全体的に色が濃い。  
里山に親しむようになり五年近く、同じ植物でも毎年毎年発見があり、楽しい。



**秋 (11月)**



**キハダの実**



**10月の観察会報告 (K.N)写真も**  
吉田山の森の小さな沢に、アマゴ、ヤマメ、あるいはイワナでしょうか？  
何か嬉しくなりました。残念ながら良い写真ありませんでした。  
今日の写真です。



シシガシラ



コナラの紅葉



池の落ち葉



落ち葉の模様

**11月のまとめ (望)**

新しい命・来期への準備実態、成熟した各種の味、トチの樹の冬芽のねばねば感、トチとホウノキの葉の違い、また、サルメなる樹の初対面、それにエゾエノキの根元のオオムラサキの幼虫も4月に観察したものがすっかり忘れていて、まるで初めて見たかのごとき感激等今月も様々な発見がありました。研修効果大です。

4月から11月まで、この観察会に参加できたことに感謝です。  
とても大きな収穫を得ることが出来ました。井村さんを始めスタッフの皆さんの終始ご熱心なご指導に暑くお礼を申し上げます。

また、この会がずっと存続し発展されますようご祈念致します。